

## 令和4年度学校評価(教育活動診)



11月中旬に実施した「教育活動診断票(アンケート調査)」へのご協力、ありがとうございました。今年度も生徒と保護者の両者に協力していただきました。1月23日に「学校関係者評価委員会」を開催し、5名の委員の方とアンケートの分析※を行いました。調査結果から見た傾向や特徴は次のとおりです。

※ 分析については、教育活動診断アンケートの4段階の評価のうち、主としてA(よくあてはまる)、B(ややあてはまる)の評価を合わせた数値を基に行いました。

### 全般的な傾向・特徴

### コロナ禍は続くが数値に変化が

○ 一昨年度からの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の影響で、生徒についてはほとんどの項目に関して昨年度は大幅な下降傾向がありました。授業をするのに常にマスク着用を強いられ、地域の感染レベルに応じて目まぐるしく変わっていく指示事項への対応で生徒たちや先生たちがストレスを抱えていたと思われます。本年度は、それらの反動もあり、全体的には、数値が回復しました。かつてあったような休校や緊急事態宣言、まん延防止等重点措置など強い行動制限はなくなったものの、感染者は増減を繰り返す中、感染予防の徹底をしながら、かつての行事を3年ぶりに復活することが多くなりました。その結果、昨年度下降した数値が、以前の水準に戻ったと思います。

本年度、生徒について数値が上昇した項目は、「学級の係活動に積極的に取り組んでいる」「全校ダンスや合唱に積極的に取り組んでいる」「授業に真剣に取り組んでいる」「情報機器は、家庭のルールを守り、モラルをもって使用している」等があげられます。特に「授業に真剣に取り組んでいる」については、2年連続で増加しました。コロナ禍と言えタブレット端末を利用したICT教育の充実、学級を解体して異学年で再編成した全校道徳をはじめとする新しい教科道徳への取組などが評価されたと思います。どんな状況下においても勉学に努めようとする姿は今後も大切にしたいと思います。

○ 保護者についても、生徒と同様に一昨年度の数値に回復しました。その中でも特に上昇したものは、以下の3つの項目です。「教育目標や学校の様子等を分かりやすく知らせている」(11ポイント)「学校行事・授業参観等を通して学校の様子がよくわかるようにしている」(15ポイント)「PTA活動が活発で充実している」(4ポイント)ほとんどの行事が復活して参観も可能になってきたことで評価が上がったと考えられます。しかし、評価の下がった項目もありました。「お子さんは、部活動に積極的に参加している」の項目が約5ポイント、「お子さんは、家庭で情報機器を、家庭のルールを守



3年修学旅行は今まで通り



感染者が増加中、なんとか実施した体育大会



制限下での幸中祭の一コマ

ラル講習会が生徒たちのモラル向上の意識を高めることにつながることを期待しています。

### 新しい傾向・動き

本年度も、コロナ禍により大きな制限を受けましたが、3年生の修学旅行は、3年前の千葉・東京泊の形で実施されました。また、授業参観、体育大会、合唱コンクール、2022ライジングサンプロジェクトの行事も3年ぶりに全学年の保護者を対象に参観可能となりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生徒1名につき保護者1名であること、マスク着用、手指消毒等の制限があるものの、かつての日常を少しずつ取り戻してきていることを感じる事ができました。本年度もエグザイル USAさんを特別ゲストとして招いて、「生き方講演会」を行い、東日本大震災への思い、ダンスに対するUSAさんの思いを直に話していただき、生徒たちはその道のプロが語る本物の思いに触れることができました。その後、青空の下、ライジングサンコラボレーション2022を行うことができました。



これまで通りの修学旅行に大満足の3年生



昨年度に引き続きライジングサンコラボレーション

されたタブレット端末の活用をご家庭の場所まで拡張し、リモート学習やアンケート入力、自宅学習等に活用できるまで整備が進むのを待つばかりです。今後も感染症予防をおろそかにすることなく、生徒たちの成長のためにより良い企画、以前のような学校生活を送ることができる学校にしていきたいと思っています。



3年修学旅行1日目 全員で地引網体験